

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年3月26日 回収率100%

事業所名 各務原市福祉の里さくら

	チェック項目	はい	いいえ	未回答	○工夫している点 ●課題や改善すべき点など	○課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境整備体制	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	0	0	○場所を有効に使えるよう内容を工夫している。	
	② 職員の配置数は適切であるか	4	3	0	●STやOT訓練などすぐに見てほしいお子さんが増えてきた。 ●配置数は適切だが、募集しても来ないため欠員になっている。	○現在ニーズに応じて外部の訓練に繋げている。 ○欠員に関しては、現在募集を掛けているところである。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	1	0	○お子さん達が見通しを持って安心して生活できるよう、活動の流れを絵や写真などで提示してわかりやすく工夫している。 また、部屋の環境を整えることで視覚的な情報を整理し、やるべきことに注目できるよう工夫も行っている。 ●床が滑りやすい。靴下が脱げない子に対しては上靴をはく等お願いしているが滑らない床はないものか。	○床の滑りに関しては、特に張替えなどの予定はない。お子さん達に靴下を脱いで頂くか、上靴などの利用をして頂いている。今後も引き続きお願いしていきたい。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	7	0	0	●空気の流れが悪い。	○指導時間の合間に保育室の窓を開けることで、廊下の換気を心がける。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	1	0	○指導後や3限目の前などの時間を利用して、それぞれの職員が振り返りを行っている。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0	○保護者からのご意見を職員間で共有し、問題点を明確にしたり、改善点を話し合ったりした。	

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年3月26日 回収率100%

事業所名 各務原市福祉の里さくら

	チェック項目	はい	いいえ	未回答	○工夫している点 ●課題や改善すべき点など	○課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
業務改善	⑦ 事業所向けの自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	0	○経過途中、実施中。	○HPIにて公表予定。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	0	0	○H30年度第三者評価を受審した。	○3年ごとに受診予定
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	●内部研修をもっとやって頂けるとうれしい。 ○外部や内部の講師を招いて職員向けの研修会を行っている。また、平日・休日などのなどで研修会に参加するなどして専門性の向上に努めている。	○子どもの施設全体での研修やさくら内での研修等、今後実施する予定である。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	0	1	○年に2回アセスメントを実施し、担当職員・児童発達支援管理者・言語聴覚士などで児童発達支援計画の内容を共有している。また、保護者からニーズをお聞きした上で計画を作成している。	○年1回程、利用児に対し発達検査を行い、発達の様子について確認を行っている。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2	1	○全員のお子さんに対しての標準化された物は使っていない。個別に応じた視点でアセスメントを実施している。 ○発達検査は毎年度取っている。アセスメントツールは必要であると思う。	○年長児には、PARSをとっている。 アセスメントツールについては現在のところ利用の予定はない。K式発達検査などの結果を元にお子さんの適応行動の状況を今後も確認していく。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年3月26日 回収率100%

事業所名 各務原市福祉の里さくら

	チェック項目	はい	いいえ	未回答	○工夫している点 ●課題や改善すべき点など	○課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
適切な支援の提供	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	0	0	○ガイドラインの内容を今後も職員間で共有し、支援目標や内容について共有していきたい。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	0	0	○支援計画を基にしてさらにお子さんに合った支援を行っている。 ○今後も支援内容の充実を図る必要がある。	○お子さんひとりひとりに合わせた支援計画になりように今後も専門的視野を広げていきたい。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	0	○活動内容は、その都度職員間で話し合った反省をもとに次週の計画を立てている。	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	7	0	0	○主任が客観的なアドバイスをしてくれ、ありがたい。	○今後も新しい内容や工夫を考えていくようにする。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7	0	0	○お子さんの発達の様子や周りの環境などの把握に努め、臨機応変に対応している。	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	○毎朝朝礼を行い確認を行っている。	
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	7	0	0	○支援終了後に、必ず職員間で支援の振り返りや気付いた点などを共有する時間を持つなどして情報の共有に努めている。	

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年3月26日 回収率100%

事業所名 各務原市福祉の里さくら

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	○工夫している点 ●課題や改善すべき点など	○課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
適切な支援の提供	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげていけるか	7	0	0	○個人の記録、グループの反省などの振り返りなどを行い、記録して支援の改善へとつなげている。また、アセスメントや支援計画の作成にも繋げている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	○6ヶ月に1回必ずモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断している。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	7	0	0	○担当職員・児童発達支援管理責任者など連携を行っている。また、相談支援専門員と連絡を合せて連携を深めている。	・今後もさらに話し合いにて連携を行い、サービス担当者会議の充実を図っていく。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	0	1	○すぐに直接連絡が取れる関係になっている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6	0	1		
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6	0	1		
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	0	0	○園訪問を行っている。 ○支援学校の見学、体験、就学相談、引き継ぎ等に職員も同行している。 ○プロフィールブックを活用し子どもの情報を伝えるなどして連携を行っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	未回答	○工夫している点 ●課題や改善すべき点など	○課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
関係機関や保護者との連携	②⑥ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	0	1	○工夫している点 ●課題や改善すべき点など ○各務原市教育委員会と連携を取り、保護者の承諾を得た上で、教育支援票を作成し教育支援委員会に提出をしている。保護者の方が適正な就学先を選択できるような支援を行っている。 ○就学について保護者向け勉強会(市教委の就学担当者や支援学級・支援学校の先生のお話など)を3回/年開催している。 ○年長児の保護者の方に対し、校区内の学校見学や、希望に応じて特別支援学校などの見学会の機会を提供している。 ○特別支援学級へ入学予定のお子さんに対して、さくらの職員や保育所等訪問支援員が引き継ぎを行った。 ○保護者の方にプロフィールブックの活用についてお伝えした。就学後も支援が引き継がれていくよう、学校へ持参して頂くようお願いしている。 ●プロフィールブックで情報を提供しているが見えていただけているか、支援に反映されているかは不明である。	
	②⑦ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	0	0	○子ども部会への出席をしている。また、他の児童発達支援事業と連携を取り、お子さんについての情報を共有している。	・全くしていないわけではないが、助言を受けることは少ない。
	②⑧ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	0	0	○支援計画に基づき園訪問を実施している。	
	②⑨ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	0	1	○子ども部会には管理者が参加している。	

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年3月26日 回収率100%

事業所名 各務原市福祉の里さくら

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	○工夫している点 ●課題や改善すべき点など	○課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
関係機関 や保護者 との連携	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理 解を持っているか	7	0	0	○保護者の方と直接懇談できない時等 は、お便り帳を利用して保護者の方と連携 を取っている。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対して家族支援プログラム(ペアレント・ト レーニング等)の支援を行っているか	3	3	1	●ペアレントトレーニングについては特に 行っていない。 ○外部のペアレント・トレーニングに行って 頂いた。 ○必要があれば紹介している。	○さくらでは特にそういった支援は実施してい ない。市の教育相談センター「すてっぷ」等で 行われる際などご案内をしている。
保護者への説明等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説 明を行っているか	7	0	0	○保護者の方にわかりやすいように説明 を補足しながらお伝えしている。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援 の提供すべき支援」のねらい及び支援内容 と、これに基づき作成された「児童発達支援計 画」を示しながら支援内容の説明を行い、保 護者から児童発達支援計画の同意を得てい るか	7	0	0	○懇談会を行い、個別支援計画の内容につ いてお伝えし同意を得ている。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等 に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援 を行っているか	7	0	0	○指導の後に最長30分まで懇談時間を設 けている。また、定期的に懇談会を実施し ており、保護者の方のご相談にお応えして いる。また、連絡帳などで相談に対して文 章でお応えするなどの対応もしている。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支援 しているか	6	0	1	○父母会はないが、年4回、保護者に対し て勉強会・交流会を実施している。	

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年3月26日 回収率100%

事業所名 各務原市福祉の里さくら

	チェック項目	はい	いいえ	未回答	○工夫している点 ●課題や改善すべき点など	○課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
保護者への説明責任等	③⑥ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	0	○保護者の方のご意見を受け止め、迅速に対応できるよう心がけている。 ○相談内容によって、担当以外のより経験や専門性のある職員が対応するようにしている。 ○管理者、主任、担当で対応し、迅速に対応できるよう連携を取っている。	
	③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	○毎月お便りを発行している。	
	③⑧ 個人情報の取り扱いに十分注意しているか	7	0	0	○個人情報の流出がないよう日々努めると共に、振り返りも行っている。 ○各個人利用のUSBにおいて、取り扱いのルールを決め、全員が周知している。	
	③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	○お子さんに応じて視覚支援やサイン等を活用している。 ○来所時やお帰りの際など保護者の方とのコミュニケーションを心がけている。	
	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			1	○毎年度、事業団でふれあい夢まつりやセミナーを開催し、多くの地域の方に来ていただいている。 また、社協と協力して、小中学生向けに福祉体験学習を実施している。	
非常時の対応	④⑪ 緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7	0	0	○各種マニュアルは策定されている。感染対応については、今年度も嘔吐物処理の実技研修を実施した。	○今年度初めて全職員に対して不審者対応研修を実施した。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年3月26日 回収率100%

事業所名 各務原市福祉の里さくら

	チェック項目	はい	いいえ	未回答	○工夫している点 ●課題や改善すべき点など	○課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
非常時の対応	④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	○毎月行っている。 ●震災の訓練をもっと行ってほしい。	○火災以外の訓練の検討も行っていく必要がある。
	④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7	0	0	○必要なお子さんに関しては、事前に薬連絡表を記入して頂き、管理・実施をしている。	
	④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2	0	○給食は実施していないので、特に医師の指示書はもらっていない。 ○保育内でのクッキングの際、事前に保護者の方にアレルギーについてお伺いして対応している。	
	④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0	○ヒヤリハットについては毎週事例を職員会で共有している。また、3ヶ月ごとに事業団全体で検証がされている。	
	④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	○毎月虐待防止のチェックリストへの記入と虐待ひやり・はっと事例を報告し合い、虐待防止マネージャー会議で検討している。職員全体研修は年2回実施している。	
	④⑦ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	0	0	○どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか組織的に内容を決定した。その内容を児童発達支援計画に記載し、懇談会にて保護者等に説明・了承を得ている。実際にやむを得ず行った内容については、保護者にお伝えすると共に、その内容について具体的に記載し、記録として残している。	